

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年07月23日

計画の名称	高崎市における快適な生活環境確保のための基盤整備（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	高崎市														
計画の目標	水源県の責務として早期に下水道処理人口普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		5,360	A	5,360	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(R2末)	(R4末)
1	下水道処理人口普及率を令和4年度末までに77%まで引き上げる			
	下水道処理人口普及率	74%	75%	77%
	下水道処理人口普及率＝下水道を利用できる人口（人）／高崎市総人口（人）			
2	汚水処理人口普及率を令和4年度末までに88%まで引き上げる			
	汚水処理人口普及率	85%	87%	88%
	汚水処理人口普及率＝汚水処理施設を利用できる人口（人）／高崎市総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	高崎処理区（A1-1）	φ100～φ300mm L=2,692m	高崎市	■	■	■	■	■	455		－
	A07-002	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第13,13-1,1 3-2処理分区（A1-2）	φ200～300mm L=3,124m	高崎市	■	■	■	■	■	362		－
	A07-003	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第14,14-1,1 4-2処理分区（A1-3）	φ75～250mm L=6,206m	高崎市	■	■	■	■	■	779		－
	A07-004	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第16,16-1処 理分区（A1-4）	φ200～600mm L=1,545m	高崎市	■	■	■	■	■	263		－
	A07-005	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第18,18-1,1 8-2,18-3,18-4,18-5処理 分区（A1-5）	φ200～400mm L=10,619m	高崎市	■	■	■	■	■	1,448		－
	A07-006	下水道	一般	高崎市	直接	－	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第21,21-1処 理分区（A1-7）	φ75～500mm L=4,985m	高崎市	■	■	■	■	■	597		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第22処理分 区（A1-8）	φ200mm L=59m	高崎市				■	■	4	—	
	A07-008	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第51処理分 区（A1-9）	φ200mm L=2,384m	高崎市	■	■	■	■	■	257	—	
	A07-009	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第36-1,36-2 ,36-3処理分区（A1-10）	φ200mm L=4,673m	高崎市	■	■	■	■	■	510	—	
	A07-010	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第48処理分 区（A1-11）	φ200～350mm L=337m	高崎市		■	■	■	■	111	—	
	A07-011	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第49処理分 区（A1-12）	φ200～400mm L=789m	高崎市	■	■	■	■	■	208	—	
	A07-012	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	県央処理区 第37,37-1処 理分区（A1-13）	φ200～300mm L=1,125m	高崎市	■	■	■	■	■	168	—	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-013	下水道	一般	高崎市	直接	一	終末処 理場	新設	阿久津水処理センター B 系沈砂設備増設（A1-16）	沈砂設備 1式、電気設備 1式	高崎市				■	■	190	—	
	A07-014	下水道	一般	高崎市	直接	一	管渠（ 污水）	新設	污水处理施設整備構想策 定（A1-17）	アクションプラン策定	高崎市				■	■	8	—	
											小計						5,360		
											合計						5,360		

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高崎市下水道局総務課が担当となって事後評価を行う。

事後評価の実施時期

令和 6 年度

公表の方法

市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

効率的な下水道整備を重点的に進めることができ、快適な暮らし・良好な環境の実現に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

下水道処理人口普及率及び汚水処理人口普及率のさらなる向上のため、次期計画においても引き続き取り組んでいく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	77%	
	最 終 実績値	77%	
2	汚水処理人口普及率		
	最 終 目標値	88%	
	最 終 実績値	88%	